

令和7年度 岩見沢市立北真小学校

学校評価

自己評価書



I 教職員数・児童数

学校名	岩見沢市立北真小学校							
校長名	三 國 均				教職員数	15名		
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
児童数	20	11	12	17	16	16	6	98
住 所	岩見沢市稔町30番地7							
電 話	0126-22-5383							
F A X	0126-22-9754							
E-mail	hokushins@edu.hamanasu.com							

II 令和7年度 学校経営方針

1 学校の教育目標

主体的・創造的に生きる北真小の子ども

- ・思いやりのある子ども（豊かな心）【愛】
- ・よく考え進んで学ぶ子ども（正しい判断力）【正】
- ・元気でがんばり抜く子ども（強い体とたくましい意志）【毅】

2 学校経営の基調

(1) 今日的な教育課題

人工減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展などにより、人々の価値観やワークスタイルが大きく変わる中、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しい時代となっている。こうした変化の激しい時代の中、学校教育においては、子供たちが、自らの良さや可能性を認識するとともに、全ての人を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、未来を切り拓く持続可能な社会の創り手として成長できるよう、必要な資質・能力を育むことが重要である。

学習指導要領には育成すべき資質・能力として、①生きて働く「知識・技能の習得」、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等の育成」③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等の涵養」、が示されている。この実現に向けては、「すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを充実し、いわゆる『令和の日本型学校教育』の構築を推進していかなければならない。

(2) 地域・保護者の実態

本校地域は、これまでの歴史と伝統を踏まえ、学校とのつながりがとても深い地域である。開校当時は新興住宅が急増したが、現在は空き家も徐々に増えるとともに地域の高齢化も急速に進んでいる。さらには、コロナ禍によって学校と地域との結びつきが弱まり、地域の活力や教育力の低下が懸念されている。このことから、将来にわたって地域を支える人材の育成を念頭に、地域づくりへの意欲や地域への誇

りを育てほしいという願いを持っており、学校に期待を寄せていることが伺える。保護者においては、本校卒業生も少なくないことから学校への関心が高く協力的な家庭が多い。世の中的な価値観の多様性を背景に、学校へのニーズも多様化し、きめ細かな学校の対応がますます求められる時代ではあるが、学校評価アンケートなどからは肯定的な評価が多く、保護者との信頼関係の構築が図られていると捉えている。

(3) 児童の実態

全体的に明るく素直であり、家庭でも学校でも落ち着いた生活を送っている児童が多い。保育所時代からの関係性ができている児童もあり、互いのことをよく理解し助け合い・支え合いながら活動しているが、クラス替えが無いことから新たな関係性を築いたり見出す力や、たくましさや困難に立ち向かう力強さに欠けている面が若干見られる。与えられたことに対して積極的に努力し解決しようとする児童が多く、家庭学習にもよく取り組んでいるが、各種客観的データによる学力の定着度合いにばらつきがある。

3 めざす子ども像

前述の学校教育目標と学校経営の基調を踏まえ、本校のめざす子ども像を次のように押さえる。このめざす子ども像の実現が共有すべき目標である。

<p style="text-align: center;">【めざす子ども像】</p> <p style="text-align: center;">【親愛～思いやりのある子ども～】 他者を思いやる言葉かけや行動ができる子ども</p> <p style="text-align: center;">【公正～よく考え進んで学ぶ子ども～】 粘り強く学び、互いに支え合い高め合う子ども</p> <p style="text-align: center;">【剛毅～元気でがんばりぬく子ども～】 自己決定を大切に、挑戦と努力を続ける子ども</p>
--

4 めざす学校像とめざす教師像

めざす子ども像を達成するためには、児童への優しさあふれる愛情と良さや可能性を認め伸ばす学校風土の中で、児童の健やかな成長を願う保護者・地域と連携・協働しながら学校づくりを推進していくことが重要だと考える。また、使命感と情熱、豊かな人間性を兼ね備えた教職員による絶え間ない教育の質的向上によって実現が図られると考える。以上を踏まえ、めざす学校像とめざす教師像を以下のように設定する。

<p style="text-align: center;">【めざす学校像】</p> <p style="text-align: center;">「児童の笑顔があふれる学校」 「児童の良さを認め伸ばす学校」 「保護者や地域が応援したくなる学校」 「活気があり教職員が働きがいをもてる学校」</p>
--

【めざす教師像】

「子どもに寄り添い子どもを大切にする教師」
「授業づくりに励み、高め合う教師」
「家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師」

5 経営の重点

【経営の重点】

～豊かな心で互いに支え合い好循環を生む学校づくり～
子ども⇄子ども 子ども⇄教師 教師⇄教師 学校⇄保護者 学校⇄地域

キーワードは「好循環」である。多様化する教育ニーズや複雑化困難化する教育課題に対応していくためには、学校のみならず家庭・地域を含めた地域の教育力の向上が不可欠である。児童の健やかな成長を育む学校、家庭の願い、地域の発展が双方向で支え合い、互いに高められていく、この好循環は保護者・地域だけでなく学校内においても同様であり、子ども同士、教師同士、子どもと教師の関係においても、お互いを支え高め合うことが大切である。また、学校教育目標やこれからの社会に求められる資質・能力を、あらゆる機会を通して家庭・地域と共有するとともに、地域の教育資源を生かした地域総がかりの教育を推進していくことも大切である。好循環の先に「将来にわたって北真地区を支える人材の育成」を見据え、学校を核とした地域づくりも推進していく。

実現にあたっては、具体的な視点として4つの重点を位置づけて推進していく。

【重点1】「主体的・対話的で深い学び」を通じた確かな学力の追求

【重点2】豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり

【重点3】健康な体の育成と安全意識の向上

【重点4】育ちと学びを支える教育環境の充実

予測困難な時代の到来は、すでに始まっている。大きな社会的変化が予測を超えて進展してくと予想される。情報化やAI化が加速度的に進む世の中であっても、日本の文化として大切にされてきた「情」を大事にしながら学校経営を推進していきたいと考える

6 具体的な取組

経営の重点の推進のための具体的な取組については以下のとおりとする。

【重点1】「主体的・対話的で深い学び」を通じた確かな学力の追求

- ◎「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業の転換
- ◎「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業の展開
- ◎「学習スキルの向上」と「学習ルールの徹底」による学び方の育成
- 各種調査等における客観的データの分析を踏まえた授業改善の充実
- ICT機器を効果的に活用した授業づくり

- 9年間を見通した外国語指導の充実
- 授業との関連や基礎基本の徹底を図る家庭学習の推進
- 特別な支援を要する児童への組織的で効果的な指導の充実

【重点2】豊かな人間性をを育む支持的親和的な仲間づくり

- ◎「ピア・サポート」の全校的な実践の推進
- ◎思いやり・協調性・自覚を育む教育活動(児童会・異学年活動など)の充実
- ◎「傾聴・受容・賞賛」に基づく児童理解と日常指導の徹底
- ◎QUテストの結果分析を生かした意図的・計画的な学級づくりの推進
- コーチングを活用した生徒指導・教育相談の充実
- いじめ根絶や不登校対策に向けた組織的対応の充実

【重点3】健康な体の育成と安全意識の向上

- ◎客観的データを踏まえた運動能力・体力の向上を目指す実践の推進
- ◎自分の心と体を大切にするメンタルケア・食教育・感染症対策等の健康指導の充実
- ◎自らの判断で命を守ることができる力を育成する安全教育の充実
- ボランティア活動・地域体験活動の充実及びネットトラブル防止の取組の充実

【重点4】育ちと学びを支える教育環境の充実

- ◎9年間を見通した教育の充実を図る小小連携・小中連携の強化
- ◎教育の質の向上を目指した「学校における働き方改革」の推進と学校運営の効率化
- ◎コミュニティ・エリアを基盤とし、学校と地域が連携・協働する地域と歩む学校づくりの推進
- 地域を生かした、人との関わりから学ぶ活動の工夫
- 保護者・地域への積極的かつ丁寧な情報発信
- 保護者・地域の声がスムーズに入る学校風土の確立

7 本校における到達数値目標

- 全国学力・学習状況調査の正答率を全国比100%以上
- 標準学力検査(NRT)の学力偏差値を各学年前年度比100%以上
- 家庭学習時間「学年×10分+10分」を80%
- QUテストの学級満足度で満足率80%以上
- 学校評価保護者アンケート項目全てにおいて肯定的回答90%以上、Aを50%以上
- 学校評価児童アンケート項目全てにおいて肯定的回答90%以上、Aを50%以上
- 不登校児童 0人
- いじめアンケート項目「嫌な思いをしたことがある」と回答した児童、解消率100%

Ⅲ 各種評価結果と改善策

※年間目標数値（A+B=90%以上）を超えた部分を黄色で、特に課題と思われる部分を青で示しています。

Ⅰ ≪児童アンケートの分析と考察≫ [対象：3年生以上の児童64名]

NO	評価内容(3~6年)	R7.12月		R7.7月		R6.12月	
		A	A+B	A	A+B	A	A+B
1	学校は楽しいですか。	53.3%	88.3%	69.4%	95.2%	65.8%	94.6%
2	先生たちや友だちによくあいさつしますか。	61.7%	95.0%	54.8%	88.7%	54.8%	91.8%
3	掃除や係活動はきちんとできていますか。	76.7%	98.4%	75.8%	98.4%	75.3%	100.0%
4	ろうかには走らずに歩くなど、けがのないように気をつけていますか。	56.7%	88.4%	54.8%	93.6%	43.8%	89.0%
5	体育の授業や、体をうごかす遊びが好きですか。	73.3%	96.6%	80.6%	91.9%	72.6%	94.6%
6	仲間はずれをつくらなくて、友だちと過ごしていますか。	80.0%	98.3%	82.3%	98.4%	69.9%	98.6%
7	自分の良さを理解していますか。	25.0%	70.0%	35.5%	83.9%	45.2%	80.8%
8	授業(勉強)は、わかりやすいですか。	58.3%	95.0%	77.4%	96.8%	69.9%	97.3%
9	授業中、自分の考えをすすんで表現(ノート・発言・挙手)していますか。	35.0%	78.3%	40.3%	79.1%	35.6%	79.4%
10	授業中、自分の考えを安心して発表することができますか。	40.0%	75.0%	38.7%	83.9%	37.0%	85.0%
11	授業中、iPadを積極的に使っていますか。	56.7%	91.7%	75.8%	95.2%	61.6%	94.5%
12	先生たちはあなたの話を聞いてくれますか。	80.0%	95.0%	88.7%	96.8%	87.7%	100.0%
13	担任の先生以外にも相談できる先生がいますか。	58.3%	88.3%	61.3%	85.5%	64.4%	87.7%
14	先生たちは、授業(勉強)でわからないことがあったら、またあとで教えてくれますか。	68.3%	95.0%	83.9%	98.4%	76.7%	100.0%
15	先生たちはがんばったことをほめてくれたり、アドバイスしてくれたりしますか。	78.3%	95.0%	85.5%	96.8%	87.7%	100.0%
16	地域のことや、近くの学校のことに興味がありますか。	61.7%	86.7%	77.4%	90.3%	34.2%	71.2%

*鉄北地区3校の共通項目として以下の4点となっています。

- 7. 自分の良さを理解していますか。
- 9. 授業中自分の考えをすすんで表現(ノート・発言・挙手)していますか。
- 11. 授業中iPadを積極的に使っていますか。
- 16. 地域のことや、近くの学校のことに興味がありますか。

Ⅰ.7月の児童アンケートの結果を受けて、今後の取組の方向性として以下の4点を挙げていた。

① 児童一人ひとりの自己理解と自信を育む個別最適な学びの充実

- ・自己評価やふり返し活動、ポートフォリオ・ルーブリック評価などを活用し、児童一人ひとりの成長に応じた「個別最適な学び」を保障する。
- ・目標設定と達成のプロセスを大切に、努力や成長を実感できる仕組みづくりを進める。

② 協働的な学びを通じた表現力と関係づくりの支援

「自分の考えを進んで表現する」「発表が安心してできる」といった項目の結果から、学び中での人間関係や心理的安全性に配慮した授業づくりが課題である。

- ・話し合いやグループ活動、ペアワークなどを日常的に取り入れ、児童同士が認め合いながら学ぶ「協働的な学び」の場を充実させる。
- ・発言や失敗が歓迎される「安心して学べる学級風土」の形成を意識し、言葉がけやルールづくりを工夫する。

③ 教職員全体による支援体制と多様なつながりの構築

「担任以外の先生にも相談できる」の項目において、信頼関係の広がりにより課題が見られた。

- ・学年・学級を越えた関わりを大切に、教職員全体で児童一人ひとりを見守る体制を意識的に構築する。
- ・異学年交流や縦割り活動を活用し、多様な人間関係の中で学び合う協働的な経験を積む機会を増やす。

④ 地域とのつながりを活かした学びの深化と個別化の推進

地域や近隣校への関心が高まっている点は、探究的な学習や社会に開かれた教育課程の成果と捉えられる。

- ・地域資源や外部講師との連携をさらに進め、児童の興味・関心に応じた学びの個別化を図る。
- ・調べ学習や課題解決型学習において、仲間と協力して学ぶ体験（協働的な学び）を通して、社会性や思考力を育む。

2. 12月の児童アンケート結果を受けて

- ・全体的に児童の満足度や学校生活に対する安心感が高い水準で維持されていることが確認できました。特に「先生たちはわかりやすく教えてくれる」「掃除や係活動はほとんどできている」などの項目では高評価を得ており、日頃の学習や生活指導の積み重ねが肯定的な意識につながっていることがうかがえます。一方で、「授業中に自分の意見を安心して発表できる」「自分の良さを理解している」などの自己表現・自己肯定感に関わる項目では、他の項目に比べてやや低めの結果となりました。この点については、児童一人一人が安心して意見を出し合える学級風土づくりや対話活動の充実今後の課題となります。ICTの活用や協働的な学習の場をさらに工夫し、児童同士が考えを共有したり、聞き合ったりできる時間を意図的に増やしていくことが必要です。引き続き、深い学びにつながる表現活動の充実を図っていきたいと考えています。
- ・「仲間はずれをつくらなくて、友達とすごしていますか」の項目では、今年度も高い評価が得られました。これはピアサポートの実施により児童間同士の交流が活性化し、友達との関係が良好になったことが要因と考えられます。また行事やグループ活動、縦割り班清掃を通し協力や共感を育む場面が多かったことも良好な人間関係の形成に寄与したと言えます。
- ・来年度は地域や他校との交流のさらなる活性化を図り、コミュニティへの関心や学びを深める機会を増やしたいと考えています。特に中学校や下級生とのつながりを意識した取組を進め、学年間の連携を強めることで児童の視野を広げる活動につなげていきたいと考えています。

2 《保護者アンケートの分析と考察》 [対象：98戸 回収率82%]

NO	評価内容(全学年)	今年度		昨年度	
		A	A+B	A	A+B
1	学校は、学校からの便りや懇談会などで、教育目標をわかりやすく伝えている。	58.8%	96.2%	69.7%	97.3%
2	学校は、確かな学力を身につけさせるよう努力している。	50.0%	95.0%	67.1%	97.4%
3	学校は、いじめのない学級づくりや心の育成の充実に努めている。	41.3%	87.5%	53.9%	90.7%
4	学校は、生活のルールやマナーを身につけさせようとしている。	51.3%	95.0%	63.2%	97.4%
5	学校は、子どもがよく理解できる授業づくりに努めている。	47.5%	97.5%	59.2%	97.4%
6	学校は、家庭学習のやり方を保護者や子どもに伝えている。	50.0%	93.8%	56.6%	94.8%
7	学校は、なわとびや時間走などの種目を取り入れて、子どもの体力向上に努めている。	51.3%	91.3%	52.8%	93.6%
8	教師は、子どもをほめたり励ましたりして、意欲を引き出している。	51.3%	90.1%	61.8%	98.6%
9	教師は、子どものことをよく理解し、相談などに適切に応じている。	43.8%	87.6%	48.7%	97.4%
10	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	43.8%	83.8%	47.4%	81.4%
11	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	27.5%	80.3%	30.3%	82.6%
12	子どもたちは、授業中にiPadを積極的に使っている。	70.0%	97.5%	68.4%	93.4%

13	子どもたちは、自分の考えを進んで表現（ノートや発言・挙手）している。	31.3%	87.6%	34.2%	92.1%
14	子どもたちは、自分の良さを理解している。	23.8%	77.6%	25.0%	82.9%
15	子どもは、地域や学校で気持ちのよい挨拶をする。	50.0%	92.5%	47.4%	94.8%
16	学校の雰囲気がよく、子ども達は生き生きしている。	35.0%	82.5%	48.7%	97.7%
17	学校は、清潔で、環境美化に努めている。	57.5%	95.0%	48.7%	96.5%
18	学校は、子どもが安全に活動できるように配慮している。	51.3%	95.1%	52.6%	98.9%
19	学校は、授業参観や行事の場を設け、特色ある教育活動に力を入れている。	50.0%	92.5%	63.2%	93.0%
20	学校は、子どもの様子などを保護者や地域に知らせている。	51.3%	91.3%	59.2%	97.7%
21	学校は、保護者や地域・関係団体と連携を図っている。	50.0%	96.3%	60.5%	96.5%

本年度の学校評価アンケートでは、児童の学校生活に対して肯定的なご意見が多く寄せられ、学校への基本的な信頼が確かに感じられる結果となった。一方で、前年度比では「そう思う」が減少し、「ほぼそう思う」に移行する項目が多く、保護者の“よりよくあってほしい”という期待が高まっていることもうかがえる。

1 児童の学びと成長に関する評価

授業づくりに関する項目は概ね安定しており、児童が「学校は楽しい」「授業がわかる」と実感している姿が保護者からも確認された。ICT活用に対する評価は前年より上昇しており、日々の授業改善の積み重ねが成果として表れている。

一方で、学力保障や授業の様子に見える化については、より丁寧な情報発信を求める声が複数寄せられた。保護者の声の背景には、子どもの頑張りを知りたい・家庭で支えたいという願いがある。学校として、日常の学習や成長が分かる情報提供を意識することが、より良い信頼形成につながる。

2 児童の安心感・学校の雰囲気に関する評価

学校全体の雰囲気や生活・人間関係に関わる項目は、肯定的回答が多いものの、前年度より慎重な評価が見られた。自由記述からは、「指導の伝え方が子どもに強く響くことがある」「注意の仕方に不安がある」といった声が確認された。

これは、一部の児童が注意の場面で緊張を抱えやすいことを示しており、子どもの感じ方に寄り添いながら、言葉かけ・指導のプロセスに丁寧さをより高める必要がある。

また、「学校の雰囲気がよく、生き生きしている」は依然高い肯定を得ているが、「そう思う」が13.7%減少したことにより、保護者の評価は「概ねよい」へと移行した。自由記述には、指導の受け止め方や注意の仕方への要望が複数あり、一部の児童が緊張しやすい場面があることが分かる。これは前半項目の「教師の励まし」「いじめ・心の育成」とも関連する。

学校として、子どもの感じ方に寄り添った声かけや指導の質の統一が求められている。

3 学級・学年の状況に関する受け止め

「学級が落ち着いてきた」「関係づくりを丁寧に行ってくれている」といった肯定的な声が複数見られ、学校全体で取り組んできた学級経営の努力が保護者にも伝わっている。一方で、学級によって情報量や伝え方に差があると感じる保護者もあり、学校としての発信の統一感が課題として浮かび上がった。

4 共生・共育への期待

支援学級との交流を求める声が寄せられ、子どもたちが互いを認め合いながら学ぶ環境づくりへの期待が高いことがわかった。本校の特色として大切にしている「共に学ぶ姿」を、今後さらに計画的に進める意義が示されたと言える。

5 学校の環境・安全面の評価

「清潔さ」「安全への配慮」は、どちらも高い評価を維持し、強みとして明確に示された。特に清潔さは「そう思う」が約9%増加しており、学校の基盤づくりが信頼につながっている。

「授業公開・特色ある教育活動」は肯定が多いものの、「そう思う」が13%減少し、こちらも“より見たい”“もっと知りたい”という期待の高まりがうかがえる。

地域連携も肯定的評価は多いが、「そう思う」が減少し、「ほぼそう思う」に移行しているため、活動そのものよりも保護者への情報発信・共有の工夫が必要であることが読み取れる。

《毎日の家庭での取組の様子》

NO	評価内容(全学年)	今年度		昨年度	
		A	A+B	A	A+B
1	朝食の大切さを教え、しっかりとらせるようにしている。	66.3%	96.3%	63.2%	97.4%
2	テレビやゲームの時間を決め、守らせている。	13.8%	60.0%	11.8%	60.5%
3	生活のリズムを大切にし、就寝時刻を決めている。	40.0%	91.2%	34.2%	88.1%
4	子どもに家事の役割を分担している。	13.8%	52.5%	10.5%	50.0%
5	家庭学習の時間を決めている。	17.5%	58.3%	14.5%	64.5%
6	子どもに体を動かすようにすすめている。	33.8%	81.2%	39.5%	76.3%

家庭項目では「生活リズム」「朝食」は改善傾向が見られた一方、「家庭学習の時間を決めている」は「ほぼできている」が大きく減少し、課題として顕著に表れた。

これは前半項目の「家庭学習の伝え方」にも揺れがあることと一致しており、学校からの指導のあり方、学年差、学習の仕方の提示などが影響している。

また、テレビ・ゲーム、家事の分担などは家庭差が大きい領域であり、学校の啓発的働きかけが有効である。

3 《教職員アンケートの分析と考察》[対象教職員10名 回収率100%]

NO	評価内容(全学年)	今年度		昨年度	
		A	A+B	A	A+B
1	児童が学校生活を楽しめるように工夫していますか。	50.0%	100.0%	44.4%	100.0%
2	児童に基本的な生活習慣が定着できるように指導していますか。	40.0%	100.0%	55.6%	100.0%
3	児童に適切な清掃活動指導をしていますか。	30.0%	100.0%	44.4%	100.0%
4	児童の健康・安全に気を配り、事故が起こらないように配慮していますか。	50.0%	100.0%	55.6%	100.0%
5	体力向上を図るために、工夫して指導をしていますか。	30.0%	90.0%	11.1%	100.0%
6	いじめ防止に気を配り、児童一人ひとりを大切にしていますか。	80.0%	100.0%	55.6%	100.0%
7	子どもたちは、自分のよさを理解していますか。	10.0%	80.0%	11.1%	100.0%
8	指導内容や教材の工夫を図って、わかりやすい授業ができるようにしていますか。	50.0%	100.0%	22.2%	100.0%
9	子どもたちは授業中、自分の考えを進んで表現(ノート・発言・挙手)していますか。	0.0%	70.0%	44.4%	100.0%
10	授業中、安心して発表できる環境作りに努めていますか。	30.0%	100.0%	55.6%	100.0%
11	子どもたちは、授業中にiPadを積極的に使っていますか。	50.0%	100.0%	77.8%	100.0%
12	児童と接する機会を多くし、児童理解に努め、信頼関係を築いていますか。	40.0%	100.0%	44.4%	100.0%
13	安全・生徒指導に対し、全職員が意思統一を図り、適切な対応ができていますか。	30.0%	80.0%	22.2%	77.8%
14	基礎基本の定着を図るために、子供に応じた指導をしていますか。	30.0%	100.0%	44.4%	100.0%
15	指導に生かすために、計画的な評価に努めていますか。	30.0%	100.0%	22.2%	100.0%
16	学校と地域は協力し合っていますか。	50.0%	100.0%	55.6%	100.0%

教職員アンケートの結果から、学校教育活動全体に対する共通理解と協力体制が概ね図られていることがうかがえます。特に、「児童の学校生活を楽しませる工夫」「いじめ防止への配慮」「児童一人一人を大切に指導」などの項目では、肯定的な回答が高く、日頃から児童理解を基盤とした指導が組織的に行われていることが確認できました。また、「指導内容や教材の工夫」「安全・健康面への配慮」「学校と地域の連携」についても高い評価が見られ、学校全体として共通の方向性をもって教育活動に取り組んでいる様子が見えます。

一方で「授業中に自分の考えを表現する力の育成」や「子ども自身が自分の良さを理解すること」に関わる項目では、課題も見られました。これらについては、授業改善の視点から、対話的な学びの充実や児童が安心して発言できる環境づくりをさらに推進していく必要があります。加えて、ICTの効果的な活用や評価の工夫を通して、児童の学びを適切に見取り、指導に活かしていくことが求められます。

今後も教職員間での情報共有や連携を大切にしながら、指導の質の向上と学校組織としての充実を図り、児童一人一人の成長を支える教育活動を継続していきたいと考えています。

《自由記述欄》

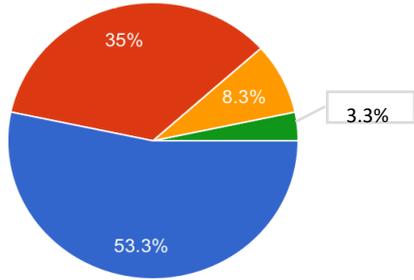
- ・授業内容はしっかり理解して帰ってきています。勉強以外のルールを守る大切やもしっかり指導していただいていると思います。お便りは特に授業の進み具合や家庭でこうしてほしいなど細かく記載されており、とても助かります。とにかく学校に行くのを楽しみにしているので、本当に先生のおかげだと思っています。プリント内容が細かくて助かりますが、先生が疲れていないかだけがいつも心配です。
- ・注意されていると思うのですが、怒られているようで怖いそうです。
- ・いつもありがとうございます。子どもたちに親身になって先生方が動いてくれていると感じています。
- ・できないことについて叱るのではなく、子どもたちが前向きにチャレンジしようと思うような言葉がけをお願いしたいです。
- ・支援学級との関わりが増えると良いと思います。
- ・残り4か月、小学校を楽しめるよう、中学校進学への準備と併せてお力添えお願いいたします。
- ・いつもありがとうございます。クラスの問題に先生方みんなで対応していただいて、少し落ち着きのあるクラスになってきているのかなと思います。

1. 児童アンケート結果

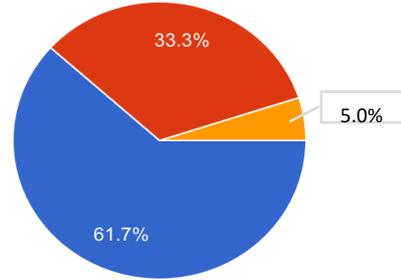
● そう思う
● ほぼそう思う

● あまり思わない
● そう思わない

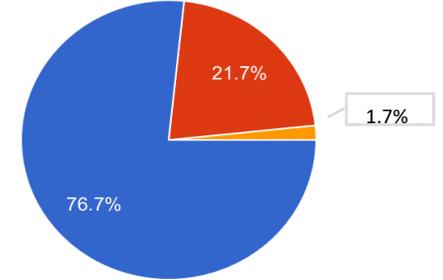
1. 学校は楽しいですか。



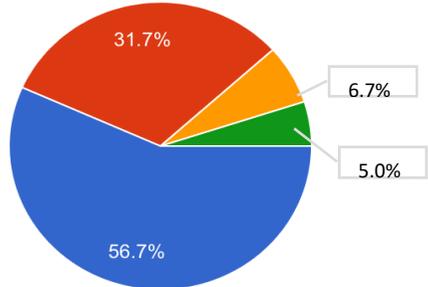
2. 先生や友だちに元気よくあいさつしますか。



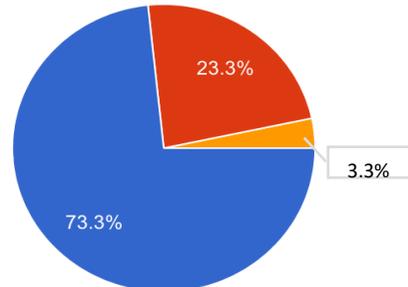
3. 掃除や係活動はきちんとできていますか。



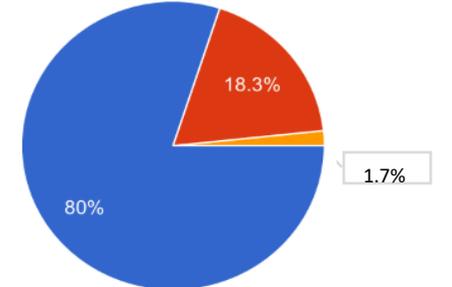
4. ろう下は走らずに歩くなど、気をつけていますか。



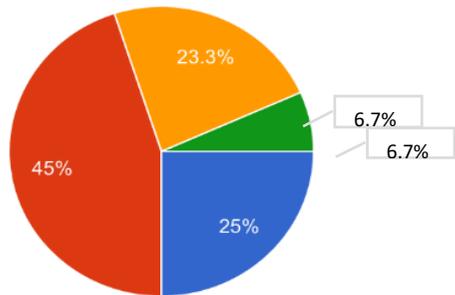
5. 体育の授業や、体を動かす遊びは好きですか。



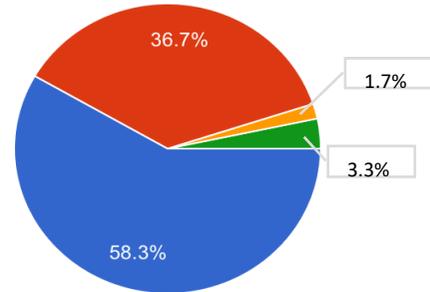
6. 仲間はずれをつくらないで、友だちとすごしていますか。



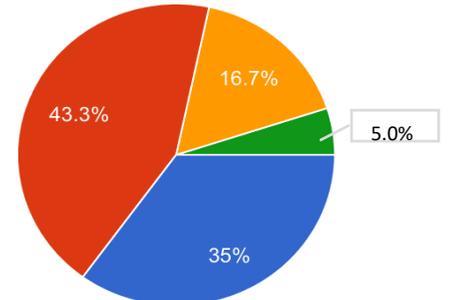
7. 自分の良さを理解していますか。



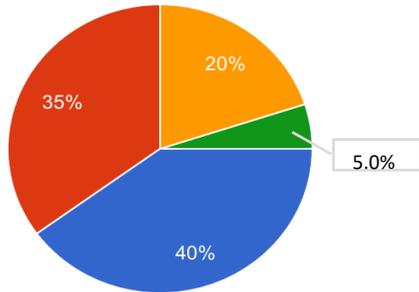
8. 授業（勉強）は、わかりやすいですか。



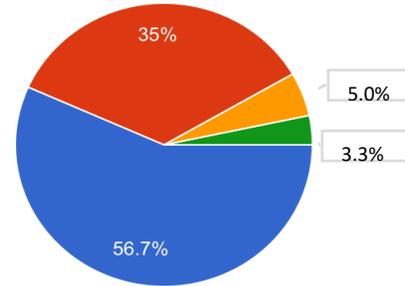
9. 授業中、自分の意見をすすんで発表していますか。



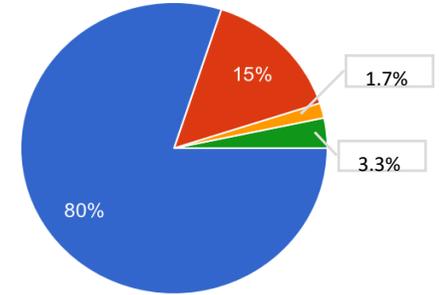
10. 授業中、自分の意見を安心して発表することができますか。



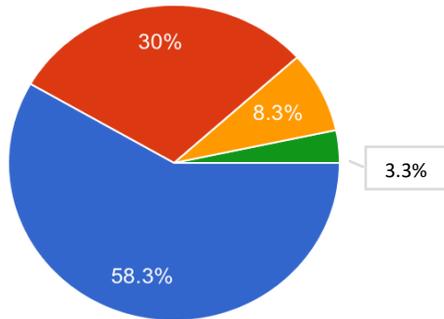
11. 授業中、iPadを積極的に使っていますか。



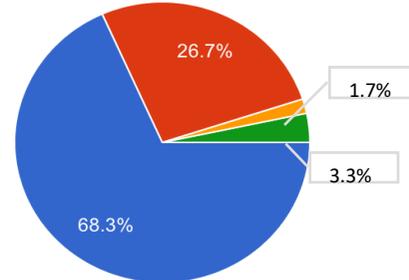
12. 先生たちはあなたの話を聞いてくれますか。



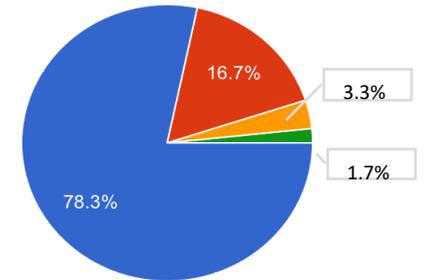
13. 担任の先生以外にも相談できる先生がいますか。



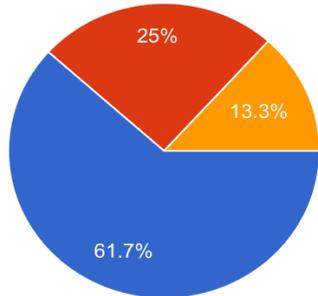
14. 先生たちは授業でわからないことがあったら
またあとで教えてくれますか。



15. 先生たちはがんばったことをほめてくれたり、
アドバイスしてくれたりしますか。



16. 地域のことや、近くのことに関心がありますか。

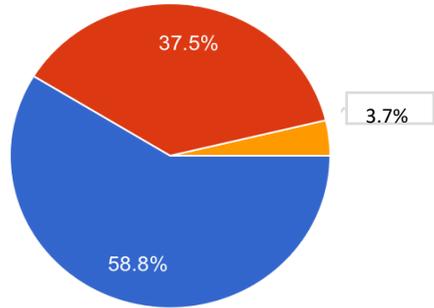


2. 保護者アンケート結果

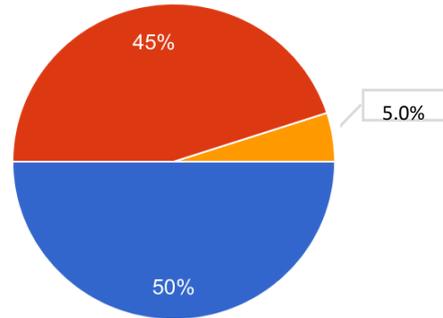
● そう思う
● ほぼそう思う

● あまり思わない
● そう思わない

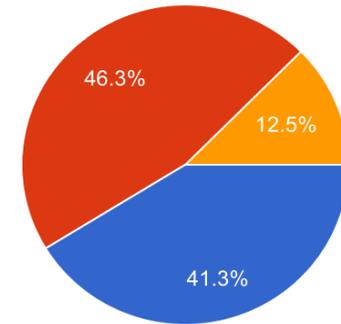
1. 学校は、学校からの便りや懇談会などで
教育目標をわかりやすく伝えている。



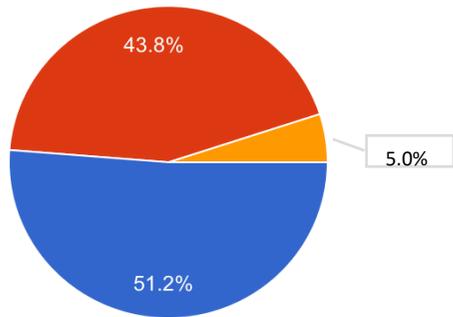
2. 学校は、確かな学力を身につけさせよう
努力している。



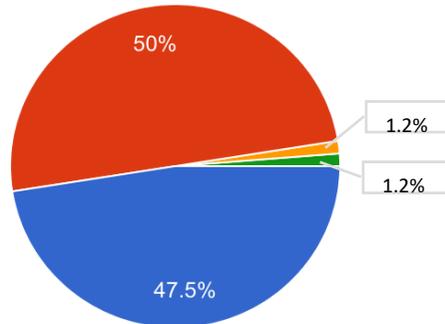
3. 学校は、いじめのない学級づくりや心の育成の
充実に努めている。



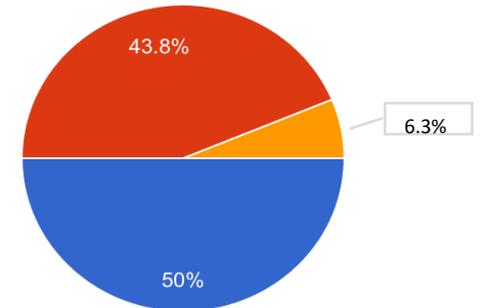
4. 学校は、生活のルールやマナーを
身につけさせようとしている。



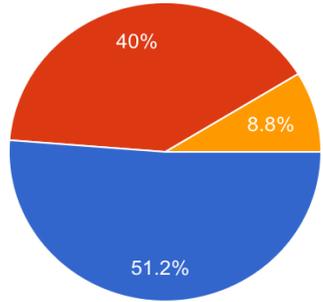
5. 学校は、子どもがよく理解できる授業づくりに
努めている。



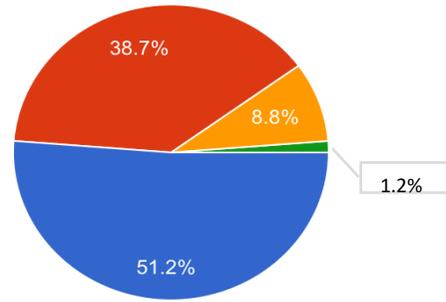
6. 学校は、家庭学習のやり方を保護者や子どもに
伝えている。



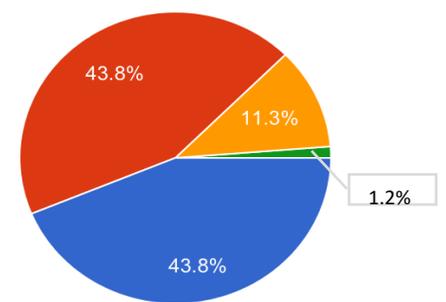
7. 学校は、なわとびや持久走などの種目を取り入れて
子どもの体力向上に努めている。



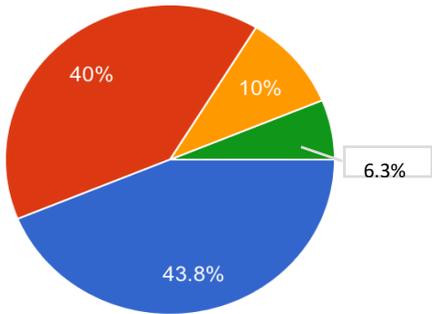
8. 教師は、子どもをほめたり励ましたりして
意欲を引き出している。



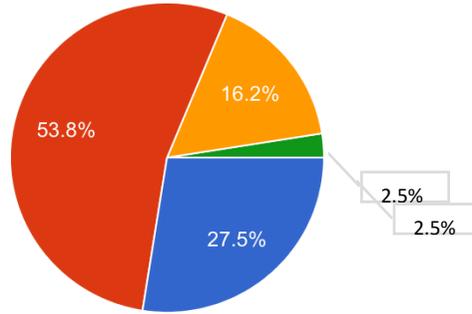
9. 教師は、子どものことをよく理解し、
相談などに適切に応じている。



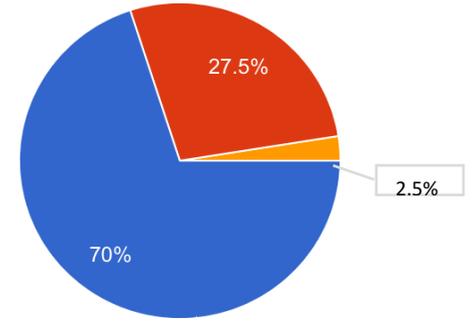
10. 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。



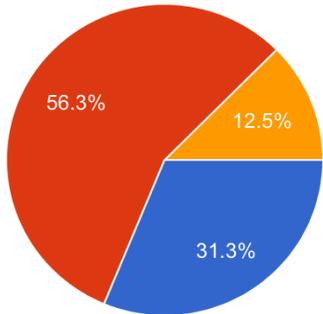
11. 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと
言っている。



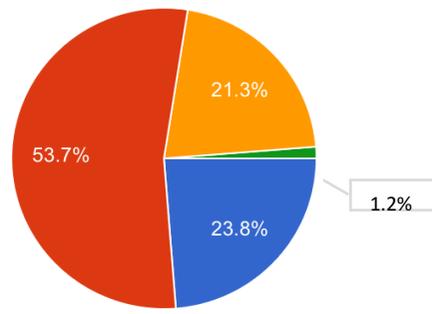
12. 子どもたちは授業中にiPadを積極的に使っている。



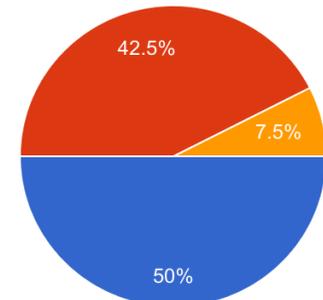
13. 子どもたちは自分の考えを進んで表現している。



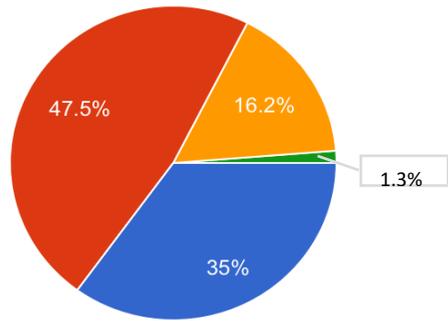
14. 子どもたちは自分の良さを理解している。



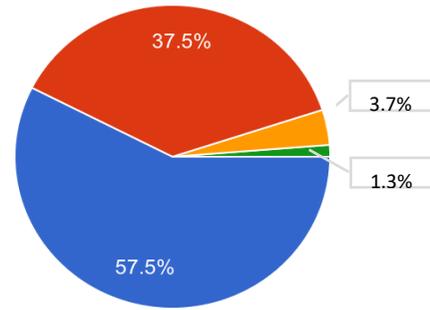
15. 子どもは、地域や学校で気持ちのよい挨拶をする。



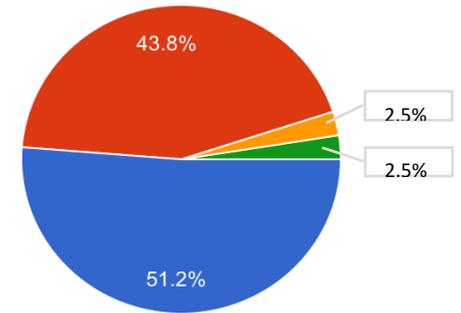
16. 学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。



17. 学校は清潔で環境美化に努めている。

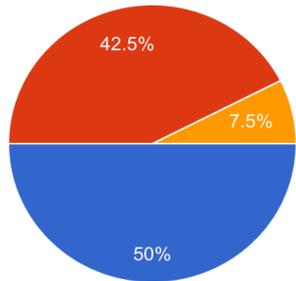


18. 学校は、子どもが安全に活動できるよう配慮している。

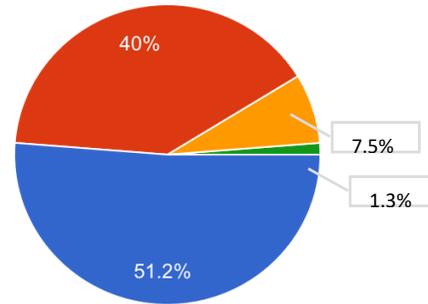


19. 学校は、授業参観や行事の場を設け。

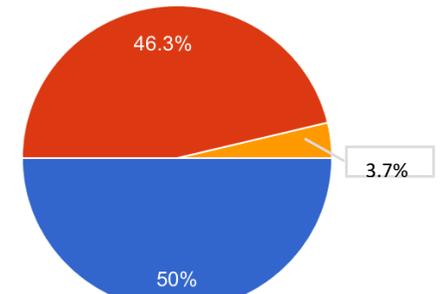
特色ある教育活動に力を入れている。



20. 学校は、子どもの様子など保護者や地域に知らせている。



21. 学校は、保護者や地域・関係団体と連携を図っている。



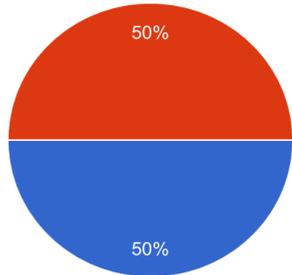
3. 教職員アンケート結果

● そう思う
● ほぼそう思う

● あまり思わない
● そう思わない

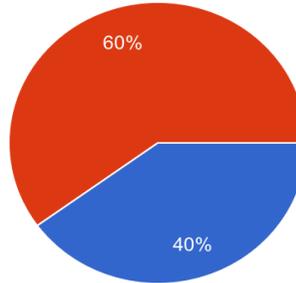
1. 児童が学校生活を楽しめるように

工夫していますか

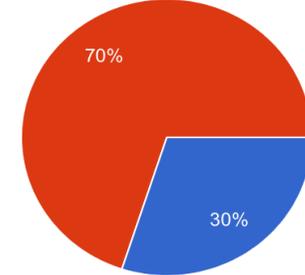


2. 児童に基本的な生活習慣が定着できるように

指導していますか。

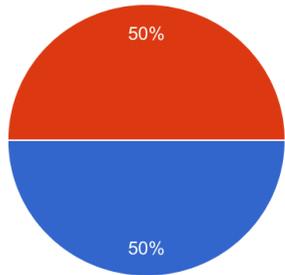


3. 児童に適切な清掃活動指導をしていますか。



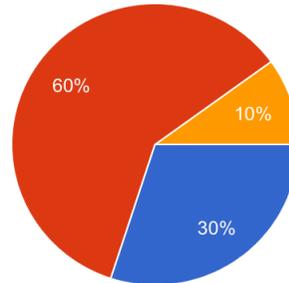
4. 児童の健康・安全に気を配り、

事故が起こらないように配慮していますか。



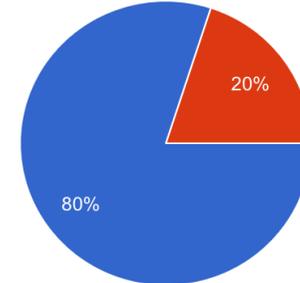
5. 体力向上を図るために

工夫して指導をしていますか。

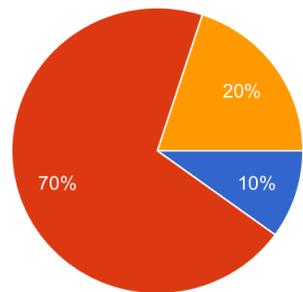


6. いじめ防止に気を配り、児童一人ひとりを

大切にしていますか。

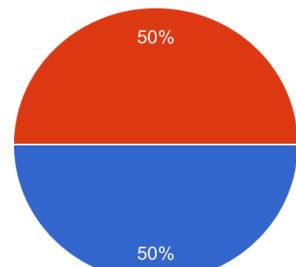


7. 子どもたちは自分の良さを理解していますか。



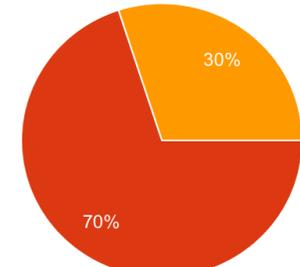
8. 指導内容や教材の工夫を図って、わかりやすい

授業ができるようにしていますか。

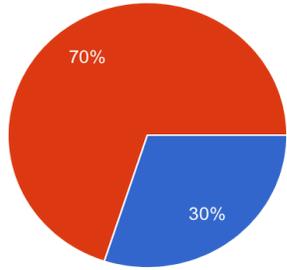


9. 子どもたちは授業中、自分の意見を進んで

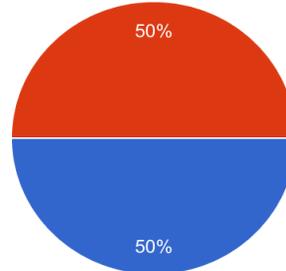
表現していますか。



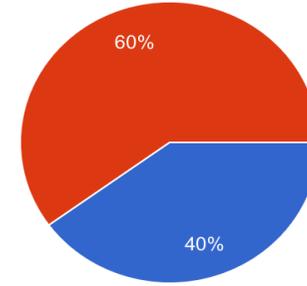
10. 授業中、安心して発表できる環境づくりに
努めていますか。



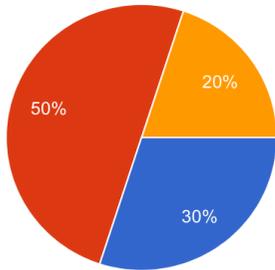
11. 子どもたちは、授業中にiPadを積極的に
使っていますか。



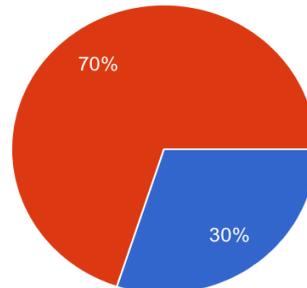
12. 児童と接する機会を多くし、児童理解に努め、
信頼関係を築いていますか。



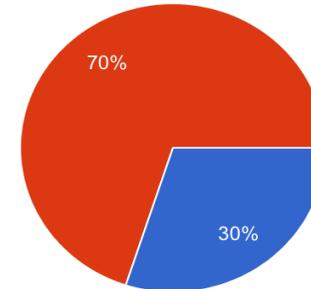
13. 安全・生徒指導に対し、全職員が意思統一を図り、
適切な対応ができていますか。



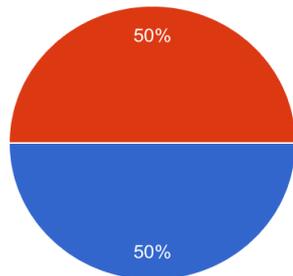
14. 基礎基本の定着を図るために、子どもに応じた
指導をしていますか。



15. 指導に生かすために計画的な評価に努めていますか。



16. 学校と地域は協力し合っていますか。



学校評価について

A:できている B:ややできている C:やや不十分 D:不十分

評価項目	A	B	C	D
1 自己評価結果の内容が適切かどうか。	3	1		

自由記述

・資料にもあったように、学校からの保護者や地域への情報発信がもっとあったらよいと思います。
⇒現在の学校便りや学級通信以外にできることがあるか検討を進める。

評価項目	A	B	C	D
2 自己評価の結果を踏まえた今後の方策が適切かどうか。	3	1		

自由記述

・もっと積極的に地域とのつながりを大切にするべきだと思います。その点は先生方の中でも温度差を感じます。（教職員の働き方改革の関係で仕方ないと思いますが・・・）
⇒地域学校協働本部などの組織づくりができれば、地域学校協働活動が進んでいくもの考える。

評価項目	A	B	C	D
3 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。	3	1		

自由記述

・児童アンケートの項目は、似たような質問があるので、もう少し減らして、子供たちがわかりやすく答えやすい内容にしたいと思います。
⇒アンケートの文言は、鉄北共通項目であるため、鉄北小中接続委員会で検討する。

評価項目	A	B	C	D
4 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか。	3		1	

自由記述

・児童アンケート、保護者アンケートともに昨年同時期に比べて「A」または「A+B」のよい数字がどの項目も減少しているのが気になります。「学校は楽しい」という子供が減っている。
・子供たちが「自分の良さを理解しているか」の項目において、児童、保護者、教員の三者で共通して評価が高くないところに興味を感じました。
⇒岩見沢型ピア・サポートの取組を加速させ、より居心地の良い学校、楽しい学校づくりに努める。また、同時に児童一人ひとりに自己肯定感や自己効力感、自己有用感を育てていく。

評価項目	A	B	C	D
5 評価結果の集計や分析の仕方、情報公開等が適切に行われているかどうか。	3		1	

自由記述

・数字のみの分析ばかりではなく、各学年ごとに抱える問題を学校全体で共有して対応すべきだと思います。
・子どもと同じく、親への指導も必要では？（家庭で褒める！）
・PTA改選で、みんなが負担を少しずつ持てるようにしてほしいです。
・地域や他校への関心が前年に比べ高まっている点は、「北真夏祭り」などの企画を通して子供たちの社会性が芽生えてきている感じがします。
⇒職員間での情報共有は適宜行い対応についても共通理解を図ってきているが、今後も継続していく。PTAの会員には全員にボランティアをお願いし、学校のために活動をしていただいている。今後も協力をお願いしていく。PTA役員中心に企画運営していただいている「北真夏祭り」は、子どもたちが大変楽しみにしている行事である。より子ども（学校）と地域の結びつきが強まるような工夫ができないか検討を進めていきたい。